

2007年～2016年度 近畿公立高等学校修学旅行実施状況の推移

(単位:校数)

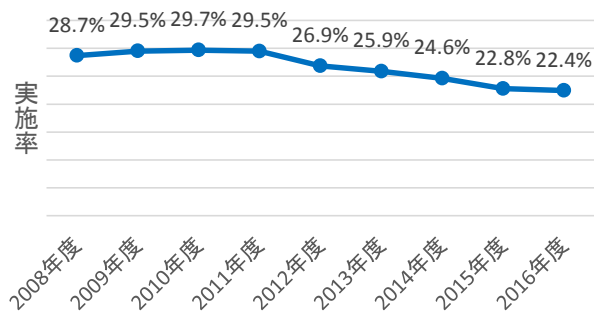
年 度	修学旅行実施校			スキー実施校				航空機利用校				海外修学旅行実施校			
	全日	定時	計	全日	定時	計	割合	全日	定時	計	割合	全日	定時	計	割合
2007年度	360	55	415	87	7	94		298	38	336		75	3	78	
2008年度	484	70	554	151	8	159	28.7%	386	52	438	79.1%	109	8	117	21.1%
2009年度	478	57	535	152	6	158	29.5%	405	47	452	84.5%	76	3	79	14.8%
2010年度	470	59	529	151	6	157	29.7%	405	39	444	83.9%	74	3	77	14.6%
2011年度	480	49	529	149	7	156	29.5%	395	33	428	80.9%	85	1	86	16.3%
2012年度	474	51	525	134	7	141	26.9%	392	34	426	81.1%	86	5	91	17.3%
2013年度	465	49	514	128	5	133	25.9%	384	30	414	80.5%	101	3	104	20.2%
2014年度	465	51	516	120	7	127	24.6%	380	25	405	78.5%	109	3	112	21.7%
2015年度	465	53	518	111	7	118	22.8%	374	34	408	78.8%	100	2	102	19.7%
2016年度	463	54	517	112	4	116	22.4%	370	34	404	78.1%	98	2	100	19.3%

※同一学校でも科ごとで行先が異なる場合等は全てカウントしている。

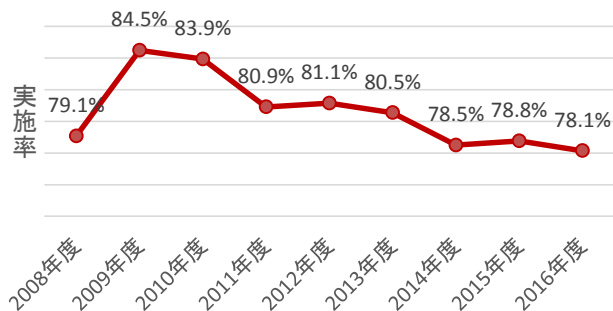
※2007年度は兵庫県立高校を含んでいない。

- ・スキー実施率は2011年度以後年々減少傾向にある。
- ・航空機利用率は2010年度以降減少し、ここ数年80%弱で推移している。
- ・海外修学旅行はこれまで2001年の米国同時多発テロ、2003年のSARS、イラク戦争、2009年の新型インフルエンザなど世界情勢、感染症の流行等に大きく影響を受けてきた。その後、燃油SCの変動等により伸び悩んでいたが、2013年度からは少し回復傾向になり20%前後の実施率で推移している。

スキー実施率の推移



航空機利用率の推移



海外修学旅行実施率の推移

